



2008年3月期 中間決算説明会

大平洋金属株式会社

2007年11月15日

ホームページURL : <http://www.pacific-metals.co.jp>

お問い合わせ先 : 総務部 (IR担当)

TEL : 03-3201-6681

目 次

I 08. 3期中間決算実績及び08. 3期決算見通し

◆08. 3期 中間決算実績	
1. 概要	3
2. ニッケル事業	4
3. 連結経常損益の分析(06. 9実績対07. 9実績)	5
◆08. 3期 決算見通し	
1. 概要	6
2. ニッケル事業通期見通し	7
3. 連結経常損益の分析〔07. 3実績対08. 3予想(新)〕	8

II 今後のニッケル需給の見通しについて

◆今後のニッケル需給の見通しについて	
1. LMEニッケル価格(CASH)とLMEニッケル在庫数量推移	10
2. 世界のステンレス生産とニッケル需給	11
3. 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し	12

III 中期経営計画

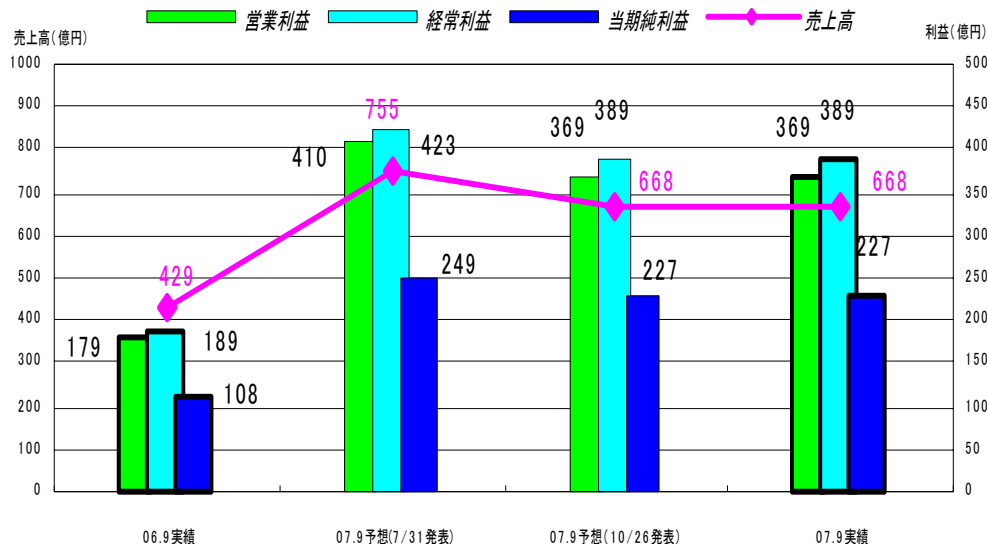
◆長期成長のシナリオ	14
◆中期経営計画	
1. 概要	15
2. ニッケル事業	16
3. 主な資金使途	17



I 08.3期中間決算実績
及び
08.3期決算見通し

1.概要

～経常利益は前年同期比105.4%増加、経常利益率は58.2%と収益拡大～



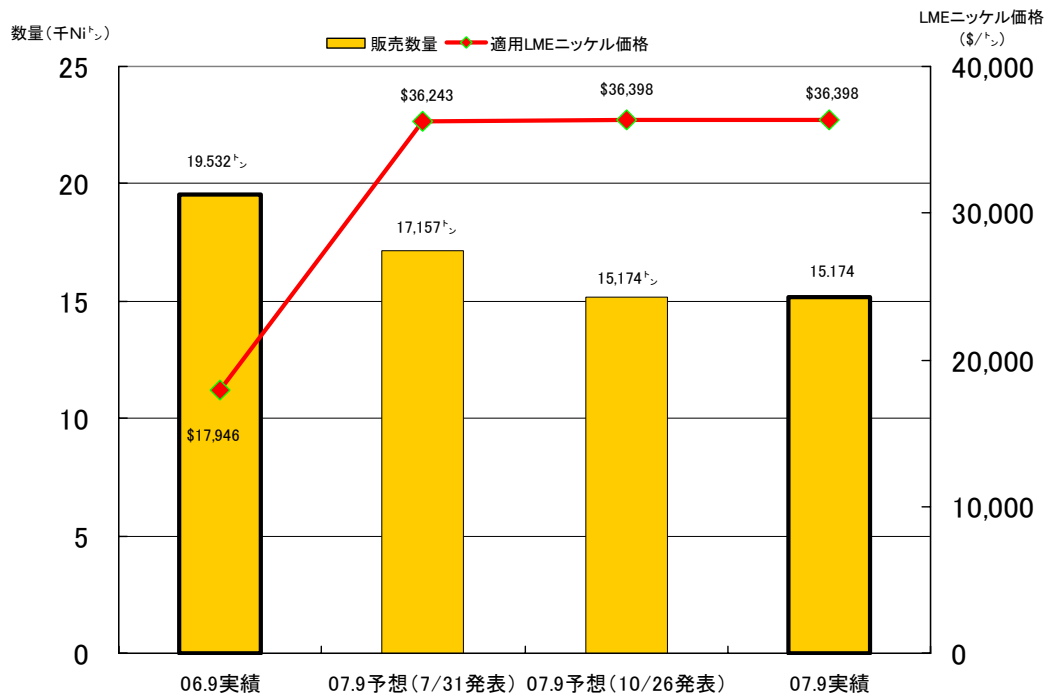
- ◇ ニッケル事業
07年2Qからの世界的ステンレス生産の減産によりフェロニッケルの販売数量は大幅に減少したが、販売価格の指標となるLMEニッケル価格の大幅な上昇により営業利益は前年同期比106.6%の増加。
- ◇ その他の事業
電力卸売事業が順調であったものの、廃棄物リサイクル事業等の受注数量不振により損失。

金額単位:百万円	06.9実績		07.9予想(7/31発表)		07.9予想(10/26発表)		07.9実績			対前年同期比(%)	対7/31発表予想比(%)
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	構成比率		
売上高	42,907	—	75,519	—	66,772	—	66,772	—	100.0	55.6	△11.6
ニッケル事業	41,978	—	74,200	—	65,567	—	65,567	—	98.2	56.2	△11.6
その他の事業	1,024	—	1,383	—	1,292	—	1,292	—	1.9	26.2	△6.6
連結に伴う調整	△95	—	△64	—	△86	—	△86	—	△0.1	—	—
営業利益	17,886	41.7	41,031	54.3	36,859	55.2	36,859	55.2	100.0	106.1	△10.2
ニッケル事業	17,946	42.8	41,152	55.5	37,079	56.6	37,079	55.6	100.6	106.6	△9.9
その他の事業	△86	△8.4	△149	△10.8	△230	△17.8	△230	△17.8	△0.6	△167.9	△54.3
連結に伴う調整	26	—	28	—	10	—	10	—	0.0	—	—
経常利益	18,920	44.1	42,313	56.0	38,902	58.3	38,868	58.2	—	105.4	△8.1
当期純利益	10,815	25.2	24,858	32.9	22,711	34.0	22,678	34.0	—	109.7	△8.8
(設備投資額)	3,491	—	6,771	—	5,293	—	5,293	—	—	—	—
(減価償却費)	813	—	1,392	—	1,377	—	1,377	—	—	—	—

◆08.3期 中間決算実績

2. ニッケル事業

～適用LMEニッケル価格の上昇と適用為替の円安は、販売数量減を十分カバーし収益アップ～



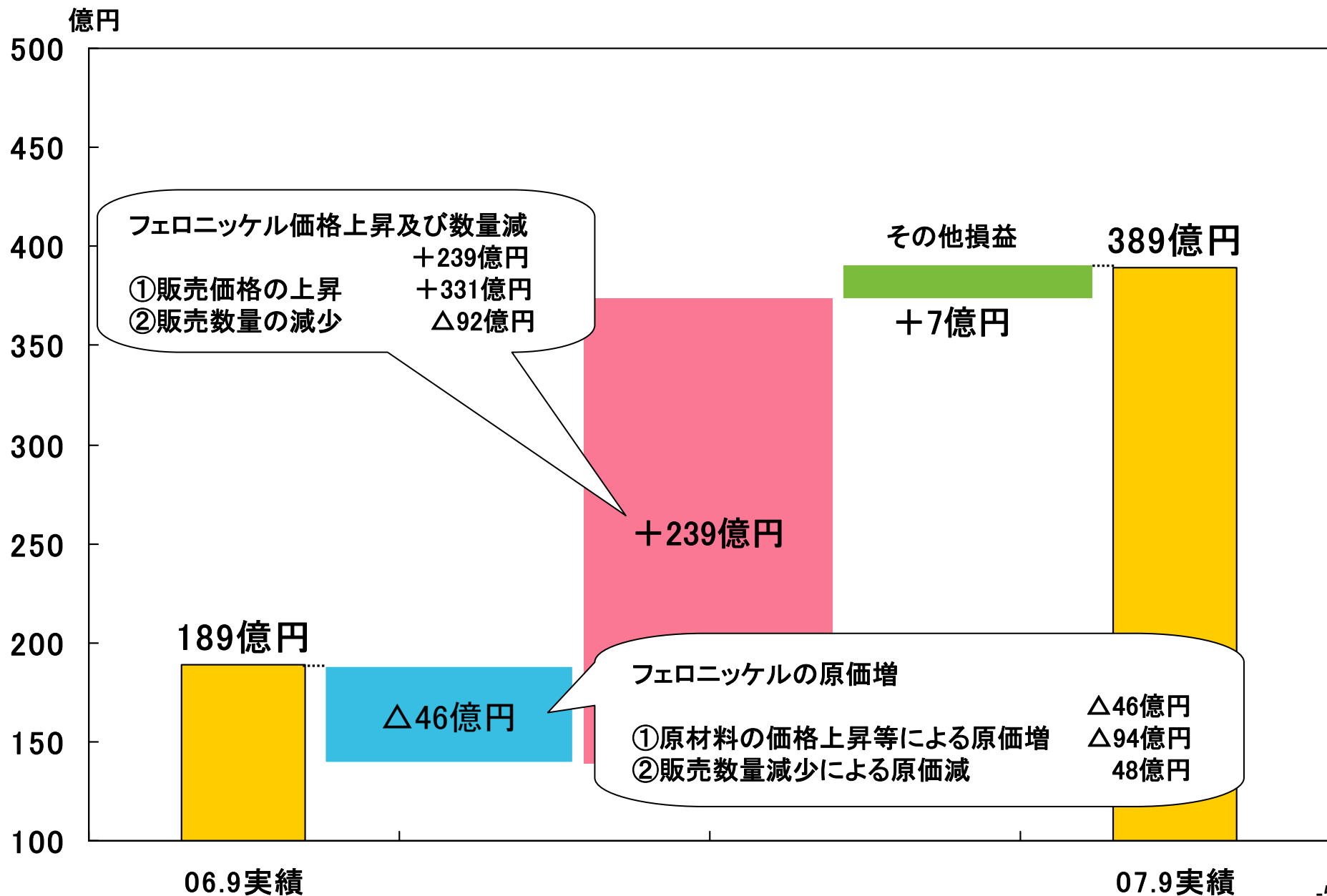
TOPICS

- ① 販売数量
07年1Qは順調にスタートしたものの、2Qより世界的にステンレス生産が減産体制へ転じたことにより、フェロニッケル販売数量は15,174トン（前年同期比22.3%減）と大幅な減少。
- ② 適用LMEニッケル価格
国際金属価格の高騰の中で、適用LMEニッケル価格も、36,398\$/トン（前年同期比10.3%上昇）と大幅に上昇し、それに伴い販売価格もアップ。
- ③ 適用為替
為替は120.0円/\$と前年同期比4.8円/\$の円安となり、販売価格を押し上げ。

	06.9実績	07.9予想 (7/31発表)	07.9予想 (10/26発表)	07.9実績	対前年同期比 (%)	対7/31発表 予想比 (%)
販売数量 (Niトン)	19,532	17,157	15,174	15,174	△22.3	△11.6
適用LME (\$/トン)	17,946	36,244	36,398	36,398	102.8	0.4
【適用LME (\$/lb)】	【8.14】	【16.44】	【16.51】	【16.51】	—	—
適用為替 (円/\$)	115.2	120.1	120.0	120.0	—	—

◆08.3期 中間決算実績

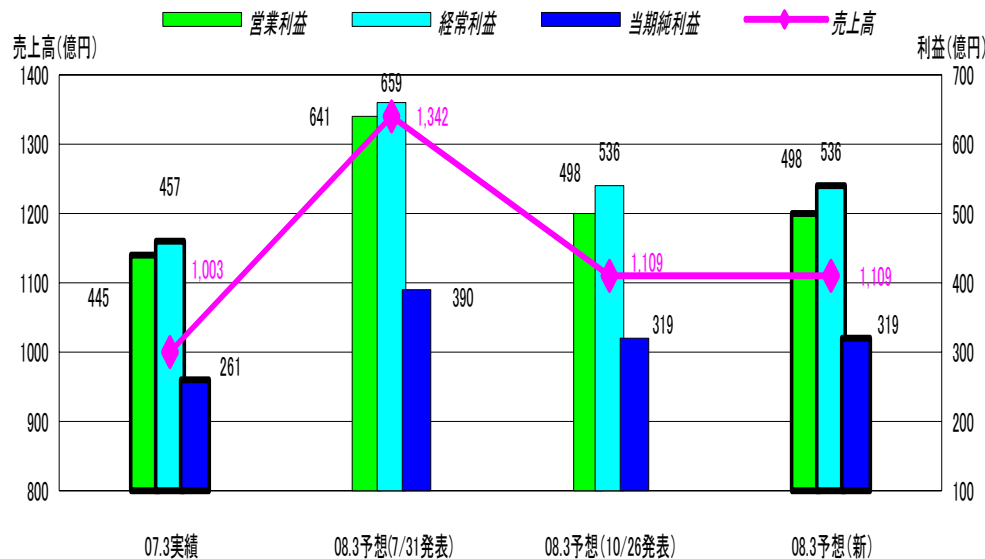
3.連結経常損益の分析〔06.9実績対07.9実績〕



◆08.3期 決算見通し

1.概要

～ニッケル事業をベースに過去最高益を見込む～



◇ ニッケル事業・・・主力のフェロニッケル製品は、大幅に販売数量が減少したが、LMEニッケル価格の上昇により数量減をカバーし増収、増益の見込み。

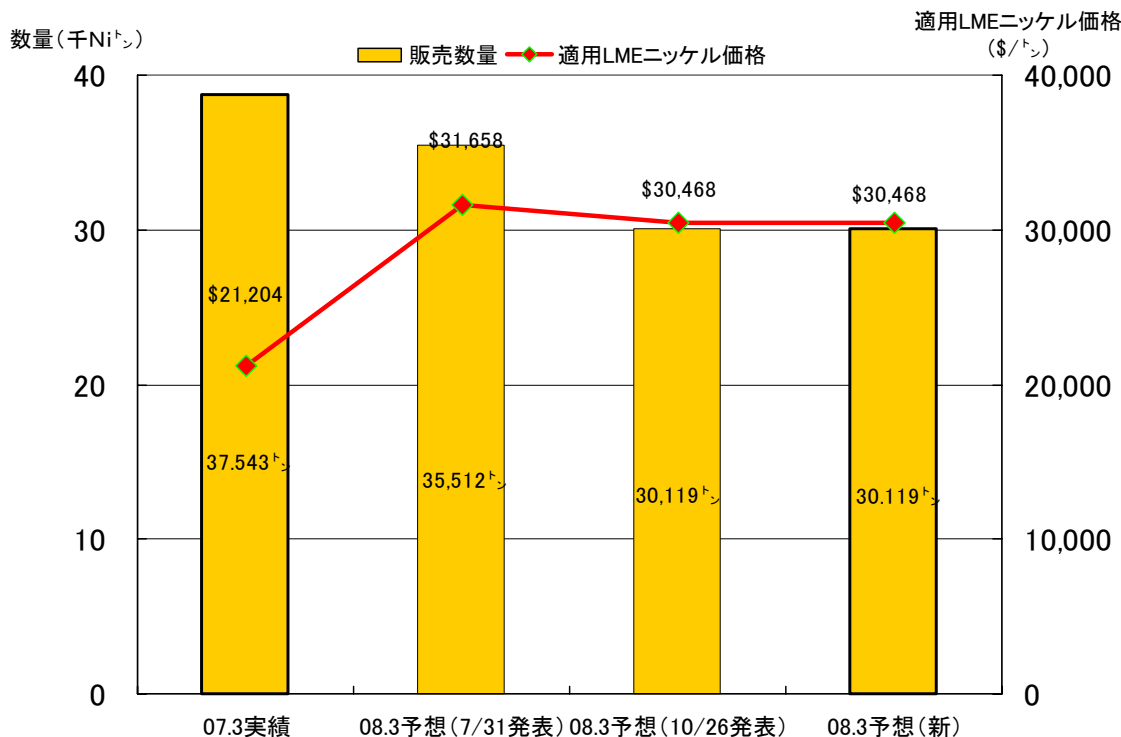
◇ その他の事業・・・電力卸売事業は順調に推移したが、廃棄物リサイクル事業等の受注数量減少により損失予想

金額単位:百万円	07.3実績		08.3予想(7/31発表)		08.3予想(10/26発表)		08.3予想(新)			対前期比 (%)	対7/31発表 予想比(%)
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	構成比率		
売上高	100,283	—	134,158	—	110,850	—	110,850	—	100.0	10.5	△17.4
ニッケル事業	98,175	—	131,463	—	107,970	—	107,970	—	97.2	10.0	△17.9
その他の事業	2,314	—	2,860	—	3,054	—	3,054	—	3.0	32.0	6.8
連結に伴う調整	△206	—	△165	—	△174	—	△174	—	△0.2	—	—
営業利益	44,455	44.3	64,087	47.8	49,793	44.9	49,793	44.9	100.0	12.0	△22.3
ニッケル事業	44,510	45.3	64,217	48.9	50,025	46.3	50,025	46.3	99.9	12.4	22.1
その他の事業	△83	△3.6	△176	△6.2	△274	△9.0	△274	△9.0	0.0	△231.1	△55.7
連結に伴う調整	28	—	46	—	42	—	42	—	0.1	—	—
経常利益	45,716	45.6	65,926	49.1	53,552	48.3	53,552	48.3	—	17.1	△18.8
当期純利益	26,087	26.0	38,988	29.1	31,907	28.8	31,907	28.8	—	22.3	△18.2
(設備投資額)	9,979	—	18,532	—	19,198	—	19,198	—	—	—	—
(減価償却費)	2,081	—	2,984	—	3,154	—	3,154	—	—	—	—

◆08.3期 決算見通し

2.ニッケル事業通期見通し

～販売数量が減少するものの、適用LMEニッケル価格の上昇及び適用為替の円安を背景に増収、増益～



TOPICS

①販売数量

ステンレスの在庫調整局面が年内まで続き、4Q以降は回復の兆しが見込まれる。しかしながら、上期の世界的なステンレス鋼業界の減産体制が大きく影響し、フェロニッケル販売数量は30,119ト（前期比22.4%減）の見込み。

②適用LMEニッケル価格

適用LMEニッケル価格は、30,468\$/ト（前期比43.7%上昇）と高値圏で推移する見込み。

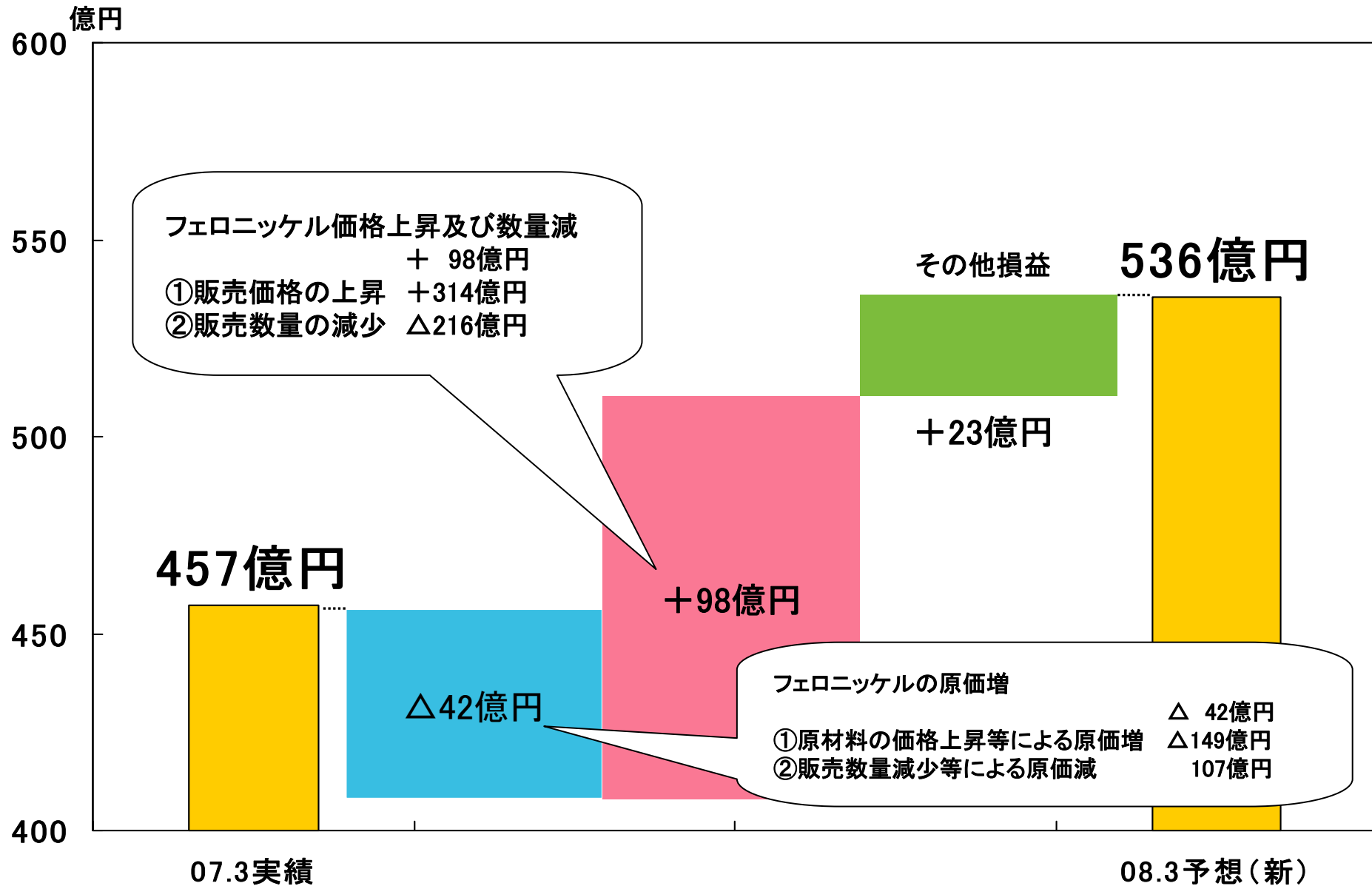
③適用為替

115.8¥/\$で前期比0.4¥/\$ 円高に推移する見込み。

	07.3実績			08.3予想 (7/31発表)	08.3予想 (10/26発表)	08.3予想(新)			対前期比 (%)	対7/31発表 予想比(%)
	上期	下期	通期	通期	通期	上期	下期	通期	通期	通期
販売数量(Niト)	19,532	19,261	38,793	35,512	30,119	15,174	14,945	30,119	△22.4	△15.2
適用LME(\$/ト)	17,946	24,317	21,204	31,658	30,468	36,398	24,449	30,468	43.7	△3.8
【適用LME(\$/lb)】	【8.14】	【11.03】	【9.62】	【14.36】	【13.82】	【16.51】	【11.09】	【13.82】	—	—
適用為替(¥/\$)	115.2	117.2	116.2	115.8	115.8	120.0	111.5	115.8	—	—

◆08.3期 決算見通し

3.連結経常損益の分析〔07.3実績対08.3予想(新)〕

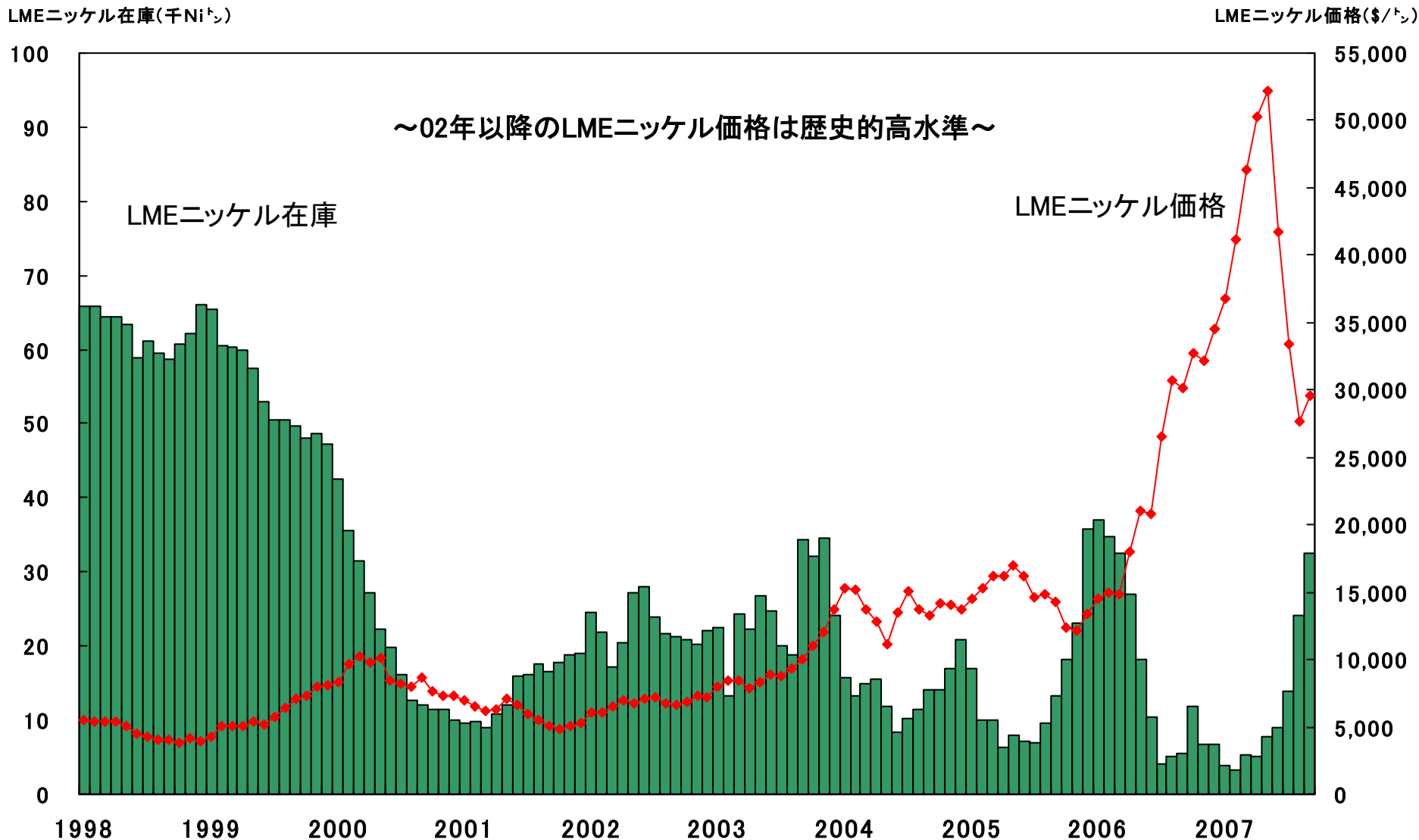




Ⅱ 今後のニッケル需給の見通しについて

◆今後のニッケル需給の見通しについて

1. LMEニッケル価格(CASH)とLMEニッケル在庫数量推移(1998年～2007年)

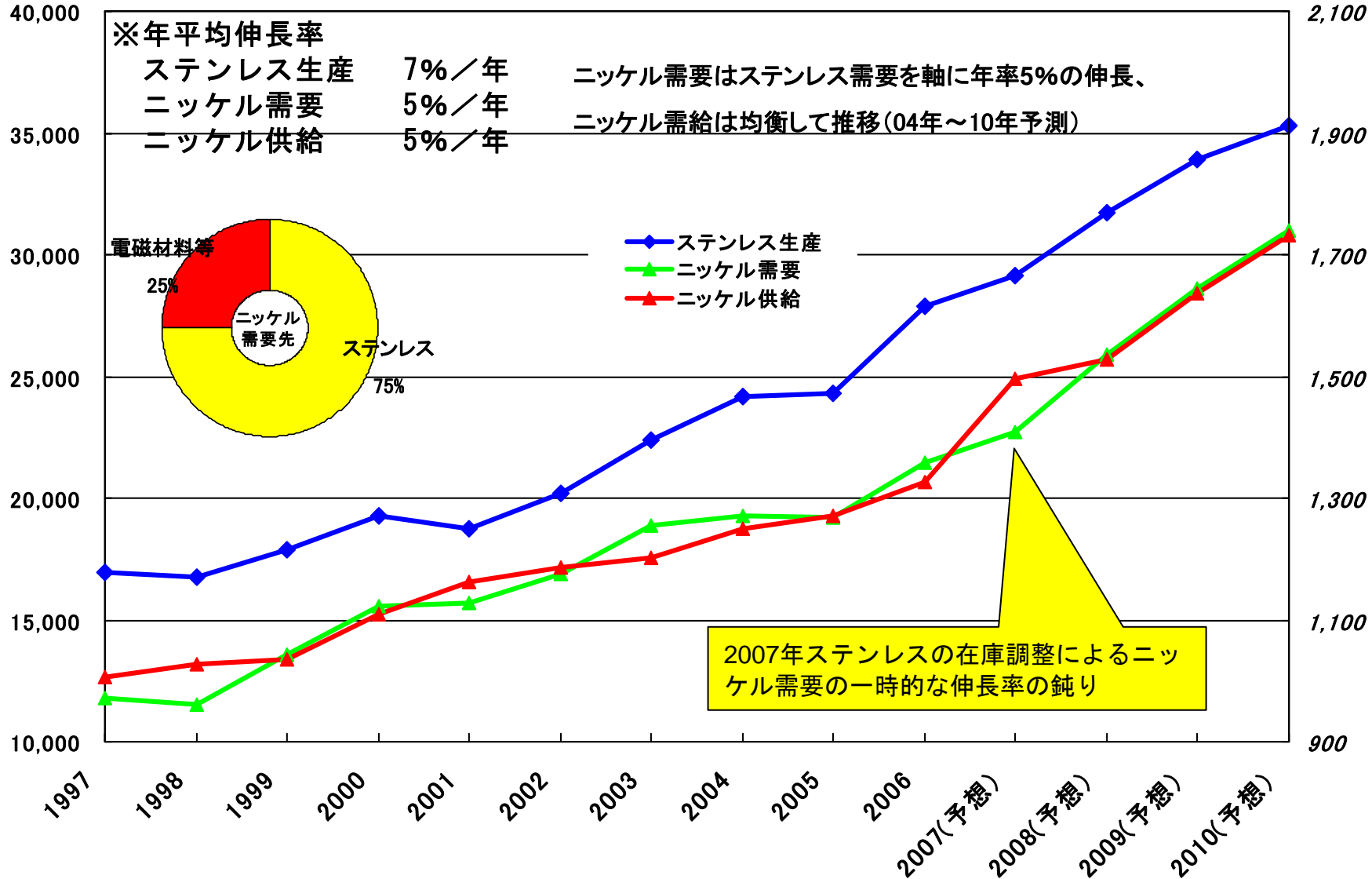


◆今後のニッケル需給の見通しについて

2. 世界のステンレス生産とニッケル需給

ステンレス生産(千ト)

ニッケル需給(千Niト)



◆今後のニッケル需給の見通しについて

3. 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し

～ステンレス生産もニッケル需要も中国が世界のトップへ～

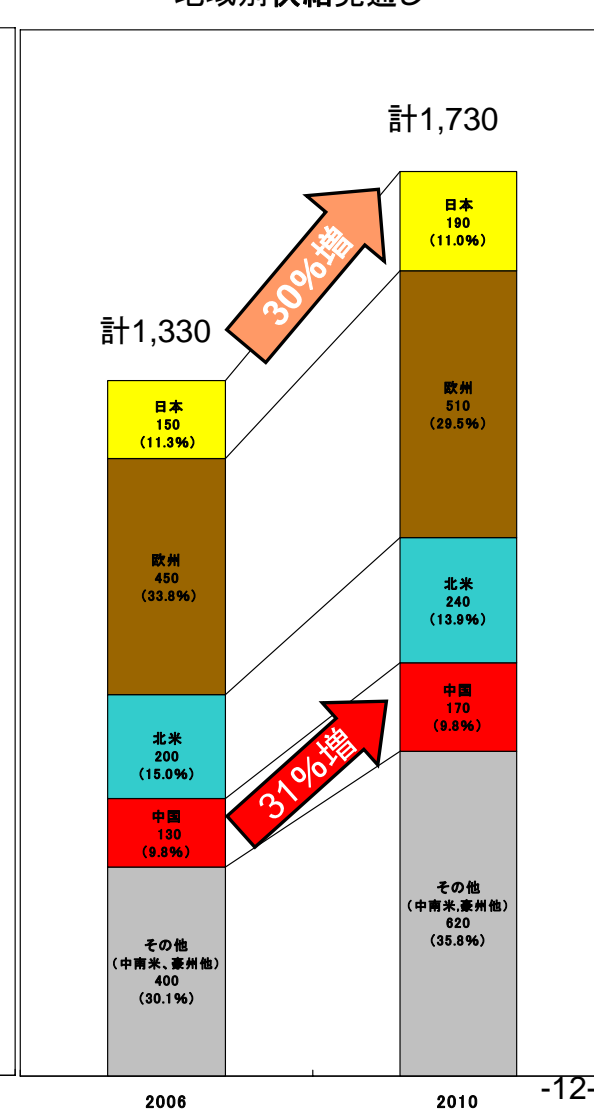
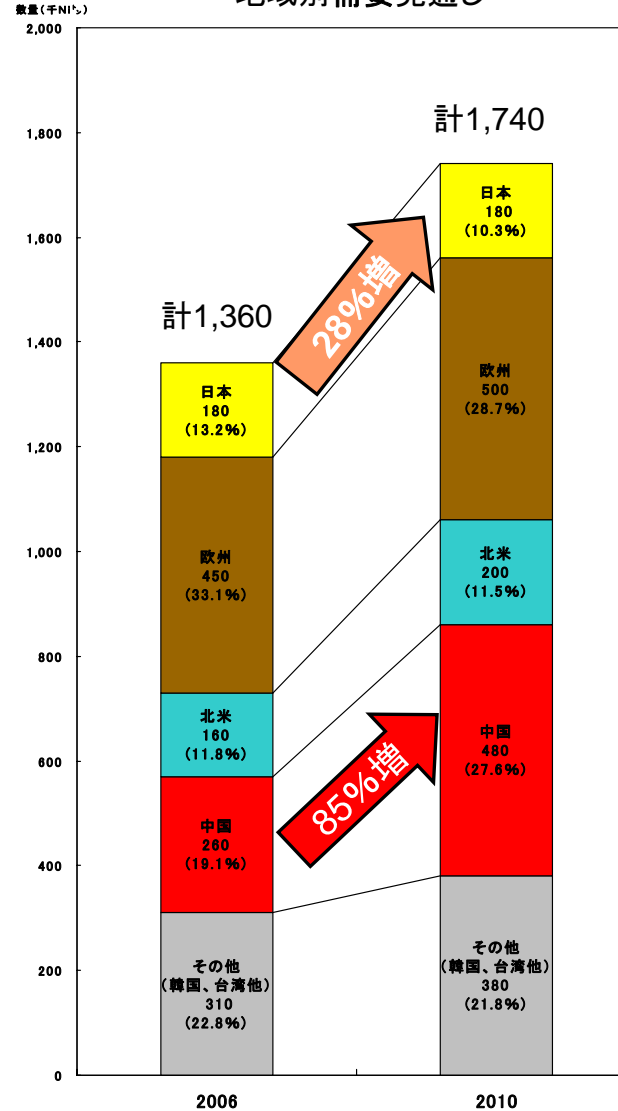
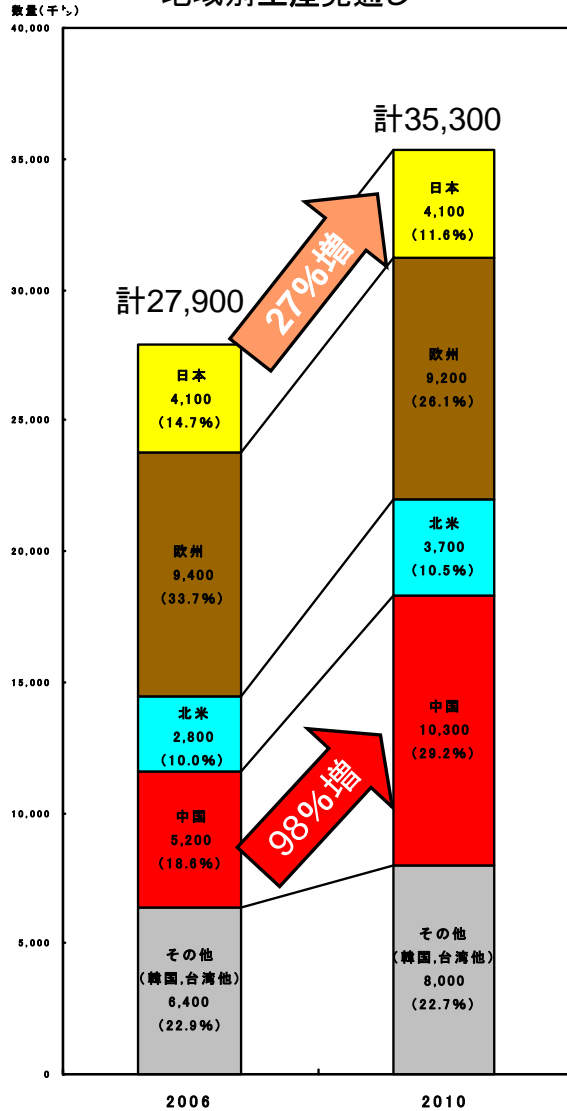
ステンレス

ニッケル

地域別生産見通し

地域別需要見通し

地域別供給見通し





Ⅲ 中期経営計画

◆長期成長のシナリオ

マクロ
環境

拡大する中国経済
伸長を続けるステンレス・ニッケル需要
旺盛な需要に支えられ
高価格で推移するLMEニッケル価格

当社の
強み

鉱山との強力なコネクション
安定した鉱石調達

製錬技術と
低コスト生産体制

中国を背景とした好立地
有利な販売体制

参入障壁の高い業界／競合他社よりも有利なポジション

目指す姿

東アジアにおけるフェロニッケルNo.1企業堅持

成長戦略

設備投資による生産量UP

新規鉱山開発の推進

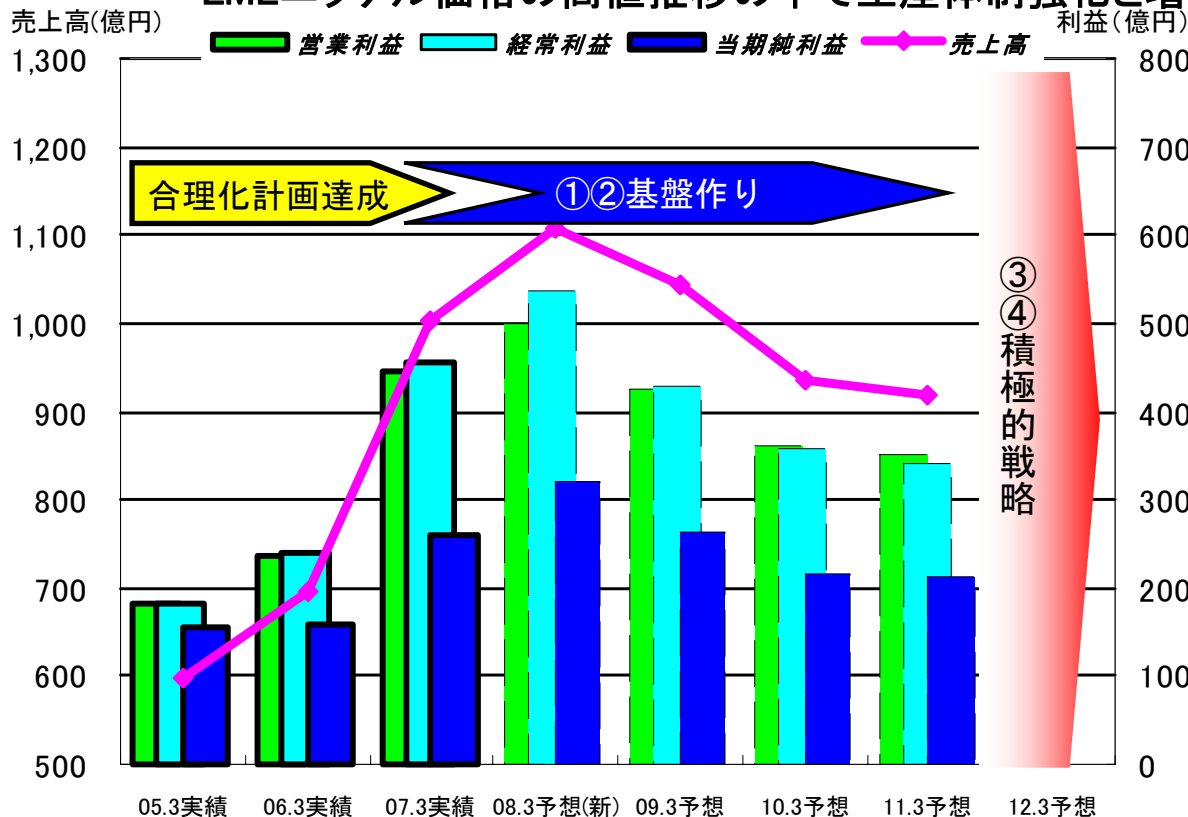
湿式製錬等
研究開発の促進

将来の成長基盤を整える

◆ 中期経営計画

1. 概要

～LMEニッケル価格の高値推移の中で生産体制強化と増販により成長基盤を固める。～



TOPICS

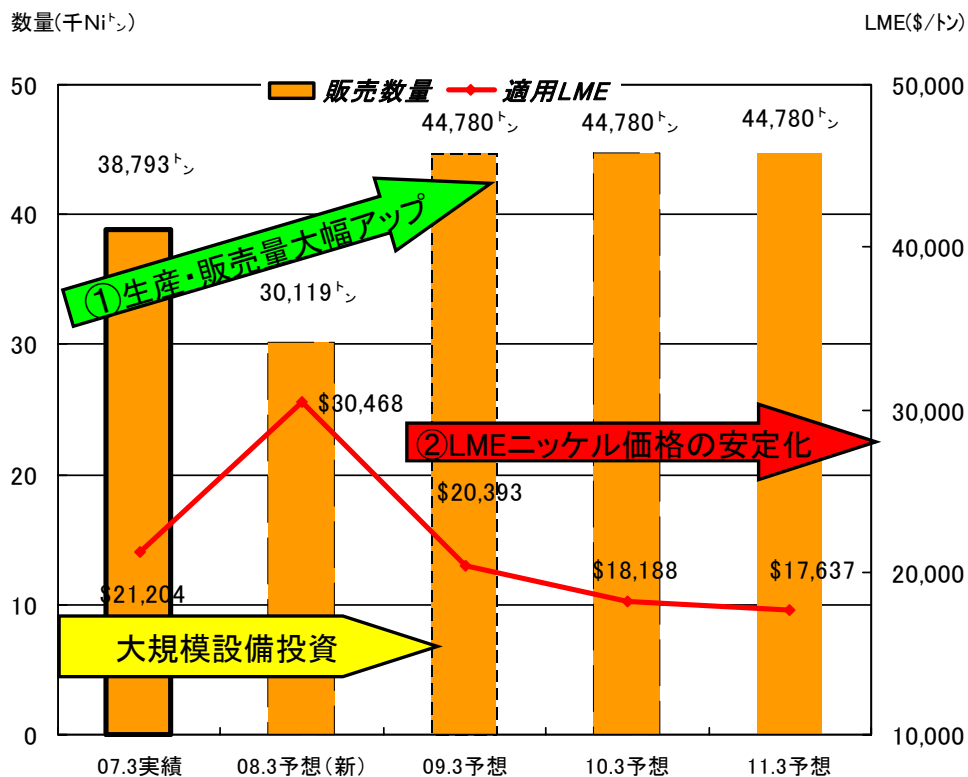
- ① 基盤作りのため、07.3期、08.3期の大規模設備投資とステンレス減産により生産、販売量は一時的に減少。
- ② 08.3期適用LMEニッケル価格予想は、現状の市況実勢レベルを勘案し30,468\$/トン(13.82\$/lb)へ修正。(見直し前 31,103\$/トン(14.11\$/lb)
09.3期以降は20,393\$/トン(9.25\$/lb)～17,637\$/トン(8.00\$/lb)を予想。
- ③ 東アジアでの好立地をバックに中国を視野に入れた販売戦略をベースに増販を図る。
- ④ 09.3期生産、販売数量共に大幅にアップし、東アジアトップのフェロニッケルメーカーとしての地位を保持。

金額単位:百万円	07.3実績	利益率(%)	08.3予想(新)	利益率(%)	09.3予想	利益率(%)	10.3予想	利益率(%)	11.3予想	利益率(%)
売上高	100,283	—	110,850	—	106,646	—	95,779	—	93,950	—
営業利益	44,455	44.3	49,793	44.9	43,103	40.4	36,700	38.3	35,554	37.8
経常利益	45,716	45.6	53,552	48.3	44,132	41.4	37,077	38.7	35,185	37.5
当期純利益	26,087	26.0	31,907	28.7	27,478	25.8	22,632	23.6	20,692	22.0
(設備投資額)	9,979	—	19,198	—	10,171	—	3,379	—	4,358	—
(減価償却費)	2,081	—	3,154	—	3,706	—	4,413	—	4,978	—

◆ 中期経営計画

2. ニッケル事業

～LMEニッケル価格の高値推移の中で生産体制強化と増販を目指す～



TOPICS

- ① 販売数量
08.3期主要な生産設備更新を終了し、生産能力は約10%アップ。中国を中心とした販売数量拡大を目指す。
- ② 適用LMEニッケル価格
ニッケル需給はタイト感継続、又市況高騰からLMEニッケル価格は高値推移の方向を見込む。
- ③ 適用為替
08.3期は115.8¥/\$、09.3期以降は109.7¥/\$円高に推移すると予想。

	07.3実績	08.3予想(新)	09.3予想	10.3予想	11.3予想
販売数量(Niトン)	38,793	30,119	44,780	44,780	44,780
生産数量(トン)	35,844	30,497	45,458	44,219	44,461
適用LME(\$/トン)	21,204	30,468	20,393	18,188	17,637
【適用LME(\$/lb)】	【9.62】	【13.82】	【9.25】	【8.25】	【8.00】
適用為替(¥/\$)	116.2	115.8	109.7	109.7	109.7

◆中期経営計画

3.主な資金使途

～主に配当と設備投資に配分～

TOPICS

- ①連結配当性向約30%
- ②4カ年中の設備投資額は56,503百万円

株主還元方針（08.3期～11.3期）

- 連結配当性向約30%
 - 08.3期配当予想 48円（中間期末24円(決定)、期末24円：連結配当性向29.4%）
ご参考)07.3期配当実績 27円（中間期末7円、期末20円：連結配当性向20.2%）
 - 自己株式の取得も状況に応じて検討

(単位:百万円)

4カ年の資金使途

配当金 30,885

設備投資 56,503
(工事ベース51,680)
(鉱山開発を含む)

有利子負債返済 4,346

内部留保金は

- 資源確保
 - 設備投資
 - 新技術の開発
 - 自己株式の取得
- 等に有効活用の予定

変化の激しい経営環境に対応

本資料は、証券取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願いいたします。本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。